

—Hibanaのひいく!—

みんなで考えよう!

日本の森林のこと。エネルギーのこと。

第4章

間伐の はなし



@hibana_kyoto

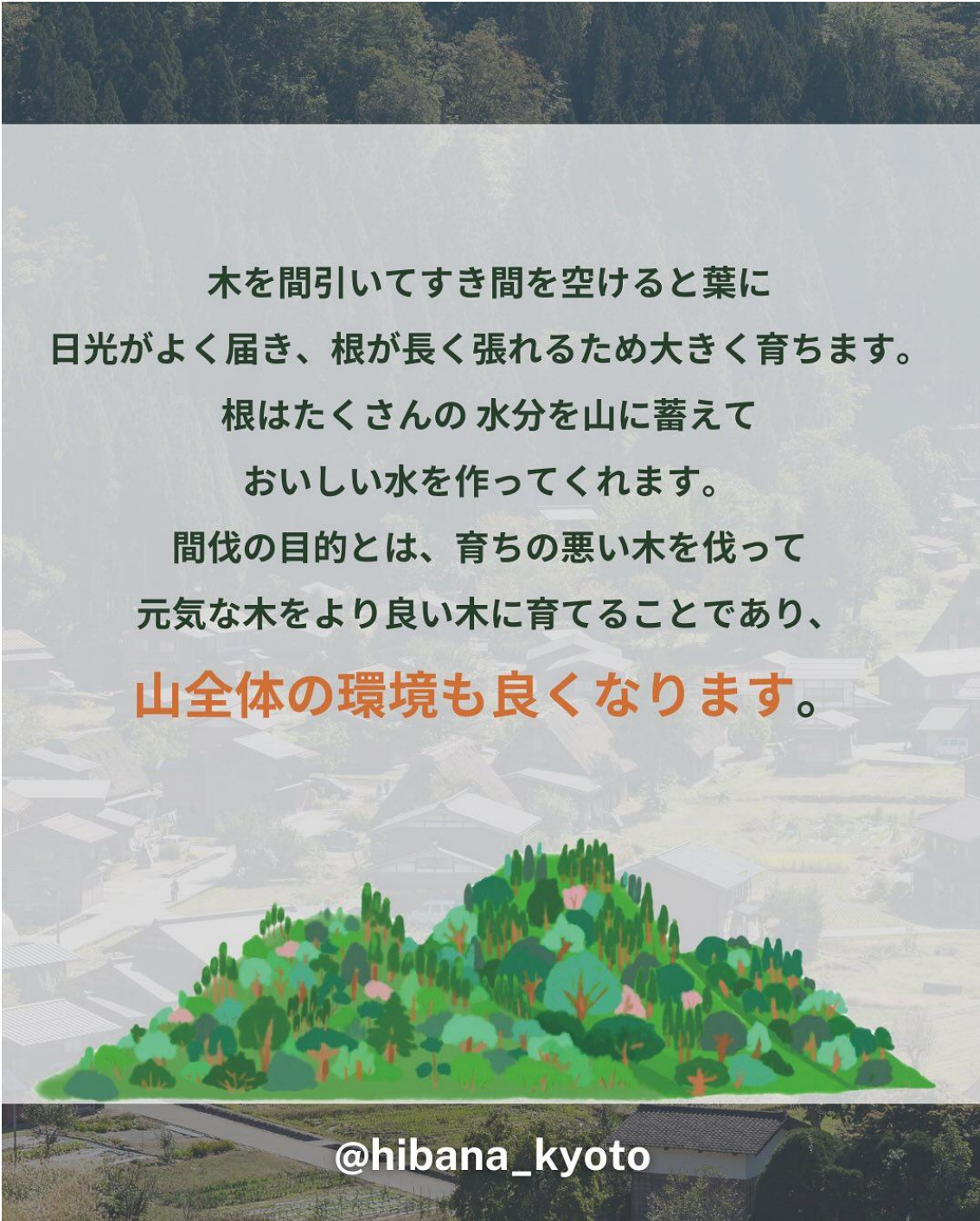
スギやヒノキを育てる世話のひとつに

「間伐」という作業があります。

間伐とは育ちが悪い木や曲がっている木を
切り倒す作業です。野菜を育てるときも
「間引き」という同じ作業をしますよね。



@hibana_kyoto



木を間引いてすき間を空けると葉に
日光がよく届き、根が長く張れるため大きく育ちます。

根はたくさんの水分を山に蓄えて
おいしい水を作ってくれます。

間伐の目的とは、育ちの悪い木を伐って
元気な木をより良い木に育てることであり、
山全体の環境も良くなります。

@hibana_kyoto

木がびっしり生えた山では、
根が長く張れないためぐらぐらと
不安定になります。

大雨で簡単に倒され、流された木々が
川を塞いで大氾濫を起こしたり、
民家へ流れ込んだりします。

年々増え続けている土砂災害です。



@hibana_kyoto

木がびっしり生えた山では、
太陽の光が地面まで届かないため草が生えません。
草を食べる動物が飢えて、食べ物を求め
町まで下りてきます。
これも年々深刻化している獣害です。



@hibana_kyoto

山にびっしり生えたスギとヒノキは毎春
花粉を飛ばし、多くの方が花粉症に
苦しんでいます。スギは若い木より20歳
(樹齢20年)を超えた木の方が多く花粉を
飛ばすと言われています。

今植わるスギの多くは50歳以上。
花粉を多く飛ばす年齢の木なのです。



@hibana_kyoto

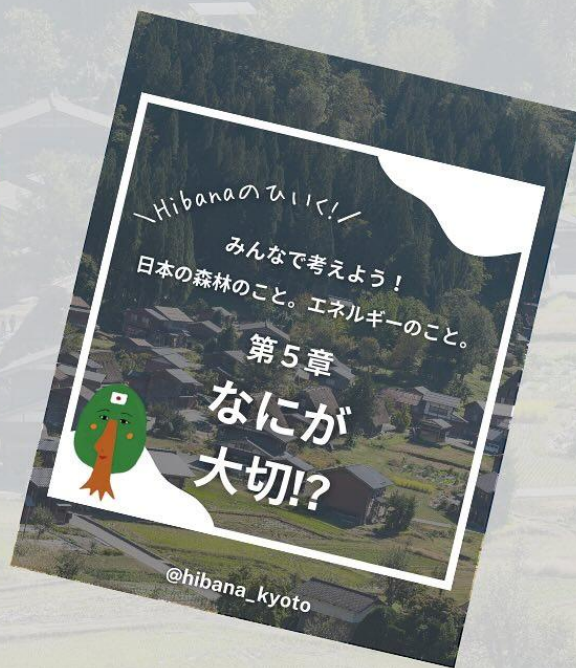
間伐は「**太くてまっすぐの立派な木**」を
収穫するために**大切な世話のひとつ**であり、
間伐が行われなければ様々な問題が
引き起こされるので、間伐をしよう！
という意識が広がっています。



@hibana_kyoto

つづきは次回の投稿で！！

次回の投稿を
お楽しみに！



@hibana_kyoto